



# 大いちょう

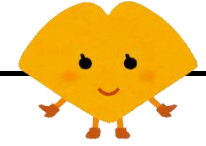


令和5年 10月6日  
富士市立伝法小学校  
校長 鳥居 朝野

朝晩は秋らしさを感じるようになりましたが、まだまだ厳しい残暑の毎日となっております。夏休みが終わって、1か月。子供たちは、勉強や運動、そして友達との楽しい時間を笑顔で過ごしています。また、創立150周年に向けて、子供たちの発想や意見をもとにして様々な記念事業を行ってきました。

さて、7月には、「教育に関わるアンケート(保護者回答)」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様が感じている子供や学校への思い、そして、子供たちが大きく健やかに成長してほしいという願いが、集計結果に表れていました。この結果を生かし、今後の教育活動をさらに発展させていきたいと思っております。ご家庭でも、今回の結果に目を通して、お子様と学校のことについて話す話題の1つとしてみてください。

## 令和5年度 教育に関わるアンケート結果(前期)



肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う)分析 ○:満足(80%以上肯定)		否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない) ▼:課題(50%以上が否定)					
番号	評価内容(カッコ内は教職員)	対象	R4肯定割合	R5肯定割合	前年度比較	分析	
1	子供たちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	95%	97%	↑	○	
		保護者	98%	99%	↑	○	
		教職員	97%	100%	↑	○	
2	子供たちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	81%	84%	↑	○	
		保護者	84%	89%	↑	○	
		教職員	79%	94%	↑	○	
3	子供たちは、重点目標「心をつなごう」～自分からやってみよう～を意識して学校生活を送っている。(「心をつなごう」～自分からやってみよう～に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	88%	90%	↑	○	
		保護者	74%	81%	↑	○	
		教職員	96%	94%	↓	○	
4	子供たちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域のよさを話題にすることがある。	児童	96%	99%	↑	○	
		保護者	40%	46%	↑	▼	
		教職員	75%	97%	↑	○	
5	地域の人や、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	97%	99%	↑	○	
		保護者	94%	97%	↑	○	
		教職員	79%	97%	↑	○	
6	子供たちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	89%	91%	↑	○	
		保護者	82%	84%	↑	○	
		教職員	64%	75%	↑	○	
7	子供たちは、「ほかほか言葉」を使って話している。	児童	91%	90%	↓	○	
		保護者	81%	81%	→	○	
		教職員	82%	78%	↓	○	
8	子供たちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	86%	91%	↑	○	
		保護者	93%	96%	↑	○	
		教職員	93%	100%	↑	○	
9	子供たちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	調査なし	92%	比較なし	○	
		保護者	調査なし	91%	比較なし	○	
		教職員	調査なし	91%	比較なし	○	
10	子供たちは、自分がされて嫌なことを友達にしないで生活している。	児童	調査なし	93%	比較なし	○	
		保護者	調査なし	90%	比較なし	○	
		教職員	調査なし	72%	比較なし	○	
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	94%	96%	↑	○	
		保護者	56%	61%	↑	○	
		教職員	82%	72%	↓	○	
12	子供たちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	83%	90%	↑	○	
		保護者	91%	91%	→	○	
		教職員	93%	100%	↑	○	
13	授業が楽しい。(子供たちは、楽しく行っている。)	児童	調査なし	95%	比較なし	○	
		保護者	調査なし	93%	比較なし	○	
		教職員	調査なし	94%	比較なし	○	
14	子供たちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	92%	93%	↑	○	
		保護者	86%	87%	↑	○	
		教職員	89%	88%	↓	○	
15	子供たちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	91%	93%	↑	○	
		保護者	77%	78%	↑	○	
		教職員	72%	69%	↓	○	
16	子供たちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	81%	81%	→	○	
		保護者	89%	87%	↓	○	
		教職員	86%	90%	↑	○	
17	子供たちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	87%	89%	↑	○	
		保護者	78%	72%	↓	○	
		教職員	82%	91%	↑	○	
18	子供たちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	92%	83%	↓	○	
		保護者	67%	調査なし	比較なし	○	
		教職員	79%	91%	↑	○	
19	子供たちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童	91%	88%	↓	○	
		保護者	90%	91%	↑	○	
		教職員	97%	100%	↑	○	



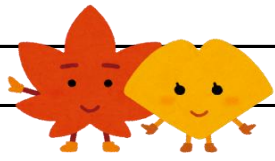
肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)		分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)				
20	子供たちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	79%	83%	↑	○
		保護者	89%	91%	↑	○
		教職員	89%	94%	↑	○
21	子供たちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	82%	83%	↑	○
		保護者	70%	70%	→	○
		教職員	79%	88%	↑	○
22	子供たちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童	91%	94%	↑	○
		保護者	88%	93%	↑	○
		教職員	71%	81%	↑	○
23	子供たちは、もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	93%	97%	↑	○
		保護者	96%	84%	↓	○
		教職員	93%	96%	↑	○

## 集計結果について(考察)

### よいあらわれ

#### ◎学校が楽しいについて 設問1・3・9

「学校が楽しい。」と感じている割合が3者ともに高い数値となっています。また、楽しいだけではなく「自分たちから生活が楽しくなるように工夫している」という項目でも3者とも高い数値になっています。令和5年度は創立150周年を迎える節目の年です。学校では「子供発」を合言葉に伝法まちづくり協議会様とともに、様々な活動を展開してきました。子供たちの取組を認め、励まし、価値づけるとともに、自分の取組を振り返り、それを通して自己効力感や自己有用感を高められたことも学校が楽しいと感じられた要因と考えられます。これからも、勉強や運動、友達と仲良く過ごすことを楽しむ子供たちを、支えていきます。



#### ◎学習関連について 設問13・14・15・16・18

「授業で学習したことが分かっている。」と感じている割合が3者ともに高い数値となっています。学校での主たる活動は学習です。学習が充実し、学びが深まるように授業では、ペアやグループ学習を積極的に取り入れ、どの子も誰とでも考えを聴き合う中で、考えをすり合わせ、自分の考えや疑問をもち、追究する力を培いながら学び合う楽しさを実感できるように授業を実施してきました。昨年度に引き続き、家庭学習の習慣が身に付いてきていることも「分かる。」につながっていると思います。各学年「学びのあしあと」のコーナーを設け、児童のチャレンジノート等を掲示しています。学校全体で学び合う環境をつくっています。後期も、学校と家庭が連携して取り組むことが、子供たちの更なるステップアップにつながります。



### 改善したいあらわれ

#### ◎地域のよさについて 設問4

設問4については、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類になり、地域の行事等が戻りつつあります。先日は、防災キャンプが実施され、地域の方のお力により、防災に対しての意識を高めることができました。学校でも、地域の方や保護者の皆様に授業に入っただき、本物との出会いや体験活動などを取り入れることによって豊かな学びが復活してまいりました。学校応援隊として地域の方に校庭や池の手入れ等をしていただき、地域の皆様に支えられて子供たちは学校生活を安心して送ることができています。学校だよりやCSだより、ホームページ等を活用して地域の皆様とのかかわりをお伝えしています。ご家庭でも地域のよさを話題にさせていただき、地域、家庭とともに歩む学校づくりにご協力をお願いします。

#### ◎安全な生活について 設問22・23

「きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。」では、子供と保護者の数値はほぼ90%と高いのですが、教職員の数値は80%となっています。学校では、定期的いきまりの確認をしたり、安全点検を実施したりして、子供たちが安全に過ごせるよう取り組んでいます。ご家庭でも、危険予知力を高めるなど「こうなったらどうなる。」と自分で想像できることや判断することの大切さを話題にさせていただき、安全に心掛けて生活できるように声掛けをお願いします。

### 心掛けていきたいこと

#### ◎あいさつ、ほかほか言葉、友達とのかかわりについて 設問6・7・10

「誰にでもすすんであいさつができています。」では、3者ともに昨年度より高い数値になっています。今年度の伝法小学校の重点目標は「心をつなごう」～自分からやってみよう～です。あいさつは人と人の心を通い合わせるための第一歩です。あいさつの大切さを子供たちと話し合い、更にあいさつの輪を広げ、心をつないでいけるように支援していきます。また、心をつなぐために言葉づかいもとても重要です。「言葉づかい」や「自分がされて嫌なことを友達にしないで生活している。」について子供たちの数値は高いのですが、学校でとても気になる子供同士の会話を耳にすることがあります。自分自身の発言や行動を振り返り、社会性を身に付けていくためには、学校と家庭で協力して取り組んでいくことが肝要だと考えます。他者を思いやる想像力や判断力、コミュニケーション能力が子供たちに育まれるよう引き続き支援していきます。



#### ◎「早寝・早起き・朝ご飯」・食事について 設問20・21

上記以外に、設問20「規則正しい生活習慣」や設問21「食べ物の好き嫌い」についても、重点を置いて子供たちに指導していることです。校長先生をはじめ、各クラスでも各学年の子供たちに合わせて、繰り返し呼びかけています。今一度、子供たちの健やかな成長のため、規則正しい生活の必要性和意味をご確認ください。

◎設問20の「早寝・早起き・朝ご飯」については、基本的な生活習慣は、安定した精神や集中力の基盤となります。特に睡眠は、精神の安定、免疫力を高めるなど前向きに生きる力を支えているため、小学校時代に身に付けていくことが重要です。

◎設問21の食事についても同様で、偏った栄養摂取や朝食欠食など食生活の乱れは成長期の子供たちの健康に大きな影響を及ぼします。バランスの良い食事を心がけ、規則正しい生活をするには、抵抗力や免疫力を高める点でも大切です。



食に関する正しい知識と望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、給食の時間を中心に、学校においても積極的に食育に取り組んでいきます。引き続き、学校と家庭と両輪で、子供たちの意識を高め、実践力が育まれるよう、支援をよろしく願いいたします。

これからも、保護者の皆さま、地域の皆さまとともに、様々な場面で頑張っている子供たちの姿を認め、励まし、子供たちの力をさらに引き出すことができるよう、職員一同努力していきます。